

人文科学科 2021 年度後期日程入試 小論文

(出題の意図・評価の観点)

問1 現代インドにおいて飢餓を引き起こすメカニズムについての課題文の説明が理解できているか、またそれを適切に要約し、表現できているかを評価の基準とする。

(解答例)

現代の飢饉は必ずしも食糧そのものの不足が原因ではなく、食糧配分の仕組みに由来する。例えばインドの飢饉は、食糧自体の不足よりは食糧配分にありつける権利が人々に保証されていないことに起因している。慢性的栄養失調の人々を救うのに十分な食糧が生産され、膨大な備蓄と損益覚悟で米を輸出しているにもかかわらず、腐敗や官僚的非効率のせいで食糧供給が妨げられ、飢えた人々に必要な食糧が届かないのである。

問2 世界(あるいは日本)の貧困、あるいは格差といった問題はなぜ引き起こされるのか、また解消されないのかについて、課題文の内容をふまえた上で、適切な事例を挙げているか。また、自らが挙げた問題について、具体的かつ論理的に説明しているか、論理の展開に独創性が見られるか、等を評価のポイントとした。当然ながら唯一の正解はないし、多様な解答がありうる。要するに、英文の読解能力や論理展開力、文章の表現力、独創性等が、評価の観点である。